

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 31 年 4 月 1 日改正
(平成 31 年 4 月 1 日適用)

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

② 施設・事業所情報

名称：下呂市立わかばこども園	種別：保育所型認定こども園																
代表者氏名：新藤 里美	定員（利用人数）：211（150）名																
所在地：岐阜県下呂市小川1048番地1																	
TEL：0576-25-2333	ホームページ： http://www.gero-kosodate.jp/62.html																
【施設・事業所の概要】																	
開設年月日 昭和34年4月4日																	
経営法人・設置主体（法人名等）：下呂市																	
職員数	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">常勤職員：</td> <td style="width: 35%; text-align: center;">19 名</td> <td style="width: 35%;">非常勤職員</td> <td style="width: 35%; text-align: center;">21 名</td> </tr> </table>	常勤職員：	19 名	非常勤職員	21 名												
常勤職員：	19 名	非常勤職員	21 名														
専門職員	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">（専門職の名称）</td> <td style="width: 35%; text-align: center;">名</td> <td style="width: 35%;"></td> <td style="width: 35%;"></td> </tr> <tr> <td>園長</td> <td style="text-align: center;">1 名</td> <td>保育士</td> <td style="text-align: center;">18 名</td> </tr> <tr> <td>保育士</td> <td style="text-align: center;">18 名</td> <td>栄養士</td> <td style="text-align: center;">1 名</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>調理員</td> <td style="text-align: center;">2 名</td> </tr> </table>	（専門職の名称）	名			園長	1 名	保育士	18 名	保育士	18 名	栄養士	1 名			調理員	2 名
（専門職の名称）	名																
園長	1 名	保育士	18 名														
保育士	18 名	栄養士	1 名														
		調理員	2 名														
施設・設備の概要	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">（居室数）</td> <td style="width: 50%;">（設備等）</td> </tr> <tr> <td>保育室 11室 遊戯室</td> <td>医務室 調理室 事務室 トイレ10 倉庫4</td> </tr> </table>	（居室数）	（設備等）	保育室 11室 遊戯室	医務室 調理室 事務室 トイレ10 倉庫4												
（居室数）	（設備等）																
保育室 11室 遊戯室	医務室 調理室 事務室 トイレ10 倉庫4																

③ 理念・基本方針（※転載）

【保育理念】

保育所保育指針に掲げる保育所の役割に基づき、下呂市の豊かな自然と地域の人たちの暖かい愛情に包まれながら、子どもたちが今を幸せに生活し、心豊かでたくましく未来（あす）を生きる力が育める環境づくりに努めるとともに、地域における子育て支援の役割を総合的かつ積極的に担うことを基本理念とする。

【保育方針】

- ・一人ひとりの子どもを大切にする保育をめざす
- ・遊びや集団生活を通して、主体性・基本的生活習慣・道徳性を育む保育をめざす
- ・養護と教育が一体となって、豊かな人間性やたくましく生きる力の基礎を育てる保育をめざす
- ・家庭、地域、学校との連携を深めながら、広い視野で子供たちを見守り育てる保育を目指す

- ・地域の子育て支援の拠点となれる保育をめざす
- ・食にかかわる体験を通して、食を楽しめる保育をめざす

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

- ・横出しサービスが多彩である。たとえば、下呂子育て支援センター、児童発達支援事業所が併設されており、園では一時預かり事業を実施するとともに、なかはら子育て保育ステーションで送迎保育、延長保育を実施している。
- ・保護者会活動が活発であり、園行事で「夕涼み会」は保護者会主催であり、「人形劇鑑賞」「リトミック」「運動遊び」は保護者会との協賛の行事である。また園内清掃等、園行事にも協力的である。
- ・障がいがある子どもに対して、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等のリハビリ専門職による会議を開き、一人ひとりの子どもの支援に対するアドバイスをを行っている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和1年5月21日（契約日） ～ 令和2年2月14日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	初 回（平成 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

<豊かな自然や伝統行事に触れながら園での生活と遊びを豊かにする保育を実践している>

園は、広い園庭に樺の大きな樹木が数本あり、季節ごとに紅葉や落ち葉など自然の変化を肌で感じられる豊かな環境にある。また、畑を作り、様々な野菜を子どもたちも一緒に育てたり、収穫する等して食育につなげている。市の伝統行事である「龍神祭り」の龍を身近に見る等して地元の伝承を学びつつ、地域社会の中で育くんでいく保育を実践している。

<子どもたちが心地良く生活できる環境づくりをしている。>

保育室は広く、トイレは2クラスが共同のトイレを使用しており、基本的な生活習慣の指導に活かされている。また広いテラスには雨よけ、風よけカーテンが設置され、子どもたちへの配慮が感じられる。長時間保育では、専任の保育士の配置があり、落ち着いて過ごせる環境ができています。

<保護者等の支援は充実している。>

園の他に、児童発達支援事業所、子育て支援センターが併設されているので、保護者は子育てに関する悩み等を身近で相談できる様々な場所がある。また、相談機関同士の連携体制もできている。

◇改善を求められる点

＜事務のICT化の促進等、業務の効率化に向けた取り組みに期待したい。＞

現在、紙ベースで行っている事務作業は、データベース化することにより、作業の効率化につながるとともに、保管スペースや廃棄の手間等の問題解決につながると考える。今後、ICT化の流れが速まっていく予想されるが、時流に従って、事務のICT化の促進等、業務の効率化に向けた取り組みに期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、第三者評価を受ける機会をいただいたことにより、園の機能やあり方について改めて考えることができました。また、職員が意識して保育の基本を振り返るきっかけとなり、評価していただいた結果や保護者の方のアンケート（意見）を基に、一人一人が課題を持ちそれを全体で共有することで保育の向上に取り組んでいこうと考えています。今回改めて確認することができたわかばこども園の良い点・改善点を常に念頭に置きながら、ますます保護者や地域に開けた園運営を行っていきたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。